

根岸芳郎 《97-9-10》1997



坂口寛敏 《バスクルの海-高知》2022



潮田友子 《シロイルカの夢》2018-2023

## 第2章 夜港：Selected

高松シンボルタワーのマリタイムプラザ内、中央吹き抜けに位置する大型スクリーンにて、現代アーティストの映像作品・メディアアートを毎晚上映します。

2025.05.09.金 - 終了時期未定

19:00 - 20:30

会場 | マリタイムプラザ吹抜Screen

※定休日なし  
※臨時休業になる場合がございます。最新情報は公式サイトをご確認ください

## 夜港：Selected 出展作家

潮田友子 大西晃生 近藤拓丸 坂口寛敏 平田尚也

※出展作家は追加される可能性がございます。詳細は公式サイトをご確認ください

## 高松シンボルタワー マリタイムプラザ高松 ホール棟2階

Main Space / Project Room / マリタイムプラザ吹抜Screen

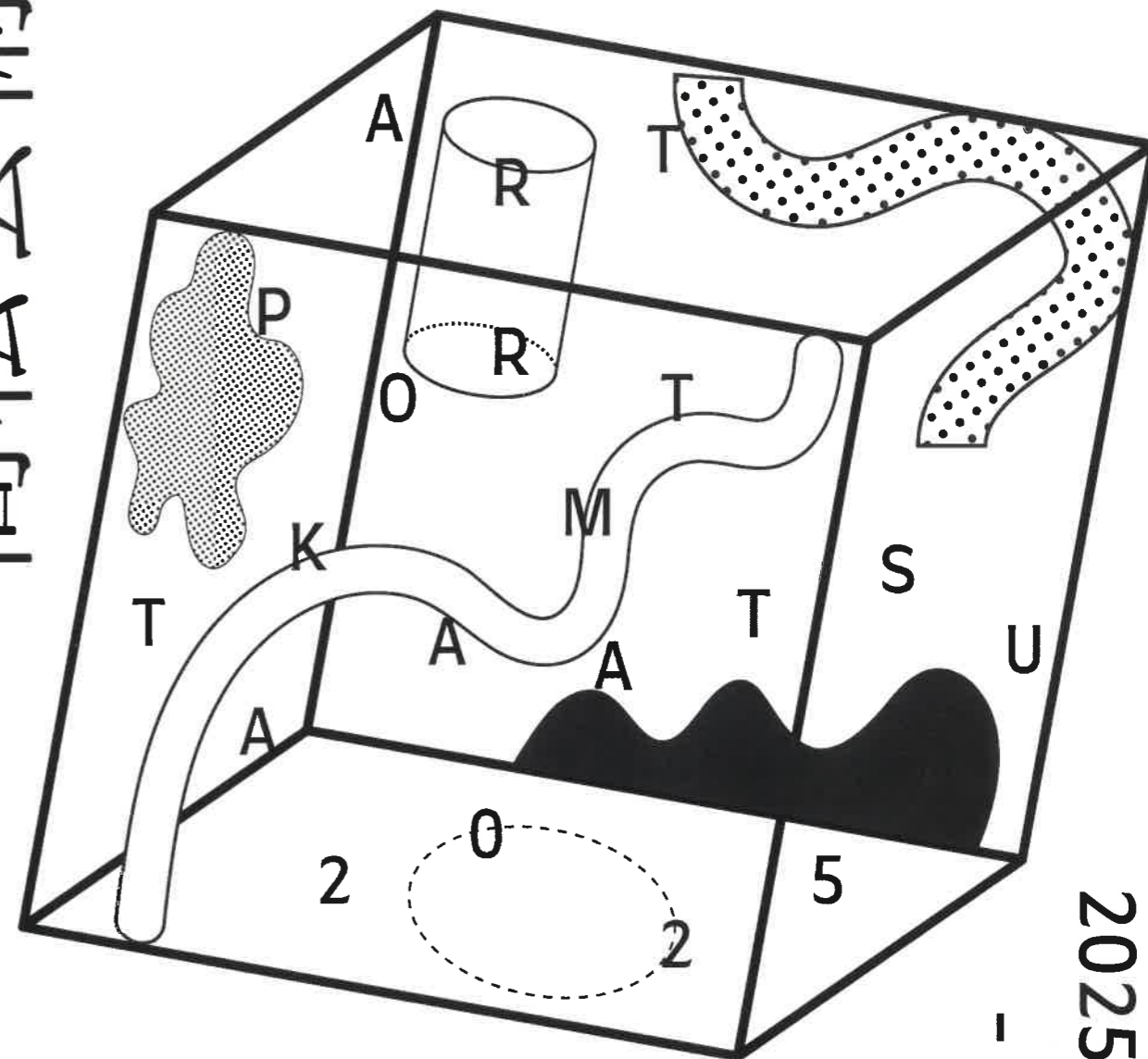
〒760-0019 香川県高松市サンポート2-1  
お問い合わせ info@artport-takamatsu.com

JR高松駅から徒歩3分  
ことでん高松築港駅から徒歩5分  
高松港から徒歩2分  
高松自動車道高松中央ICから車で約20分  
高松空港からJR高松駅行きバスで約45分



# 高松芸術港

ART PORT TAKAMATSU 2025



2025.04.18.Fri  
- 11.30.Sun

サンポート高松で展開される、  
現代アートによる現在地点の開港。

出航：Spring - Summer

2025.05.09.金 - 07.28.月 11:30 - 20:30

夜港：Selected

2025.05.09.金 - 終了時期未定 19:00 - 20:30

高松シンボルタワー  
マリタイムプラザ高松 2階

高松芸術港 公式サイト <https://www.artport-takamatsu.com>  
お問い合わせ info@artport-takamatsu.com

主催 シンボルタワー開発株式会社 株式会社ブルードレス  
株式会社タナカヒサエオフィス

協力 株式会社赤々舎 / N project / GALLERY KTO  
GALLERY SIDE 2 / Satoko Oe Contemporary  
ギャラリーMOS / LightSeed Gallery / √K Contemporary

N project Contemporary GALLERY SIDE 2

AKAACA



S.O.C.

Satoko Oe Contemporary



ON SUNDAYS  
LightSeed Gallery



# 第1章

## 出航：Spring - Summer

2025.05.09.金 - 07.28.月

11:30 - 20:30

会場 | Main Space

※ 定休日なし  
※ 臨時休業になる場合がございます。最新情報は公式サイトをご確認ください

### 出航：Spring - Summer 出展作家

石川竜一 大西晃生 甲村有未菜 近藤拓丸 佐佐木實 千葉麻十佳  
寺本明志 並木久矩 西川由里子 根岸芳郎 橋本直明 平田尚也  
ムラタ有子 山口真和 山内祥太 李旭

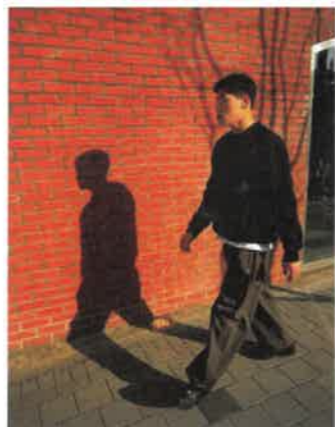
# 高松芸術港

## ART PORT TAKAMATSU 2025

高松シンボルタワーにて開催される現代美術の展覧会です。高松市の港エリアに位置する本会場では、“港”という開かれたイメージを軸に、美術を通し新たな世界へと出航します。2025年4月から11月にかけて、絵画・立体・写真・インスタレーション・メディアアートなど、現代美術作家の作品をご紹介します。高松市という街の持つ近代性をキーワードに、現代社会やコミュニティ・文化のあり方にいま目を向けて、現在性の探求とともに発見していきましょう。

Main Spaceでは、各会期ごとに現在日本で活動をしている現代美術作家に焦点を当て、現在地点の美術の姿を見させていただきます。Project Roomでは、各会期ごとにユニークなギャラリーや出版社による展覧会が開催されます。さらに秋には別企画を後日発表予定です。

高松ポートサイドエリアは、瀬戸内海のいくつもの島々と繋ぐ出発点であり、終着点であり、通過点でもあります。そして本州と繋がる鉄道の駅であり、港町でもあります。陣地を構え、灯台の様にシンボルタワーから360°ぐり芸術の拡がりを見渡してみましょう。



A



B

春、高松芸術港から出港する美が最初に出会うのは、四国の自然のように大きく色彩豊かな『新しい芸術』です。高松は近代の昔日の夢が息づく街です。そこに『新しい芸術』が展示されます。“新しい”と言うのは、前にも芸術の姿を知っているからこそ、“新しい”と言えるのです。それは同じ価値観の連続した歴史がある事を示唆しています。しかし頭を使う概念だけでなく、生き返るように身体を動かし表れた連続的な“新しさ”は、我々から夢の行き先を忘れさせてしまいました。“新しさ”とは、季節で言うならば巡る事でしょう。毎年同じ時期に同じ花が咲き、人も動物も四季のあり方を感じます。今年とは無いです。春はまた春で、夏は夏です。

木々の持つ記憶が毎年豊かに葉をつけ成長するように、我々も写真や旅行先で手にした記念品で思い返される記憶で今日もやり逃げられます。“新しい”からは成され続けるのです。たとえ学ばずとも、誰かに教えられなくても、我々の身体はある場と状況と情報を窃取して為すべき事を為すことができます。創造の起点となり、『現在』への道標です。

高松芸術港から出港した『新しい芸術』から始まる『現在』はどの様な潮路を行くのでしょうか。高松のこの場所で、ぜひご高覧ください。



I



N



J



K



L



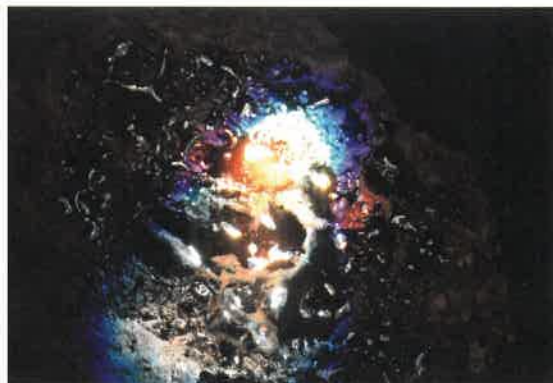
M



O



D



C



F



G



H



E

### 同時開催

## スタッフ・シュムスキー展

### 会場 | Project Room

※開催会期・時間は公式サイトをご確認ください  
※ 定休日なし  
※ 臨時休業になる場合がございます。詳しい日程は公式サイトをご確認ください

ポーランドの若手アーティスト、スタッフ・シュムスキーは、先史時代の壁画、新石器時代のペトログリフや中世のシンボルから、現代のグラフィティや解体されたロゴタイプまで、人々のコミュニケーションに使われてきた図像的モチーフを引用し、解体して作品にしました。その作品はペインティング、ドローイング、彫刻、インスタレーションなど様々な手法によって制作されてきましたが、今回の個展では近年アーティストが集中して取り組んでいるジャカード・テキスタイルを取り入れた作品を発表します。

協力：LightSeed Gallery / SIDE: CORE



Stach Szumski 《The Arch》